

# 石油小形給湯機 取扱説明書 保証書付

製品名

CBX-EF470F

## もくじ

高効率給湯機器のしくみ	2
特に注意していただきたいこと	3
各部のなまえとはたらき	7
使用前の準備	9

時計を合わせる・時計を表示させる	11
お湯を出す	12
お湯の温度を調節する	13
お風呂にお湯はりをする<お湯はりプザー>	14
リモコンの操作音を消す(鳴らす)	16
表示の節電について/表示の節電の設定を変更する	17

凍結による破損を予防する	18
日常の点検・お手入れのしかた	21
定期点検	23
法定点検について	24
故障・異常かな?と思ったら	26
部品交換のしかた	31
初期設定一覧	31
主な仕様	32
アフターサービスについて	33
据え付け	34
無料修理保証書	裏表紙

はじめに

使いかた

必要なとき



このたびは弊社製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

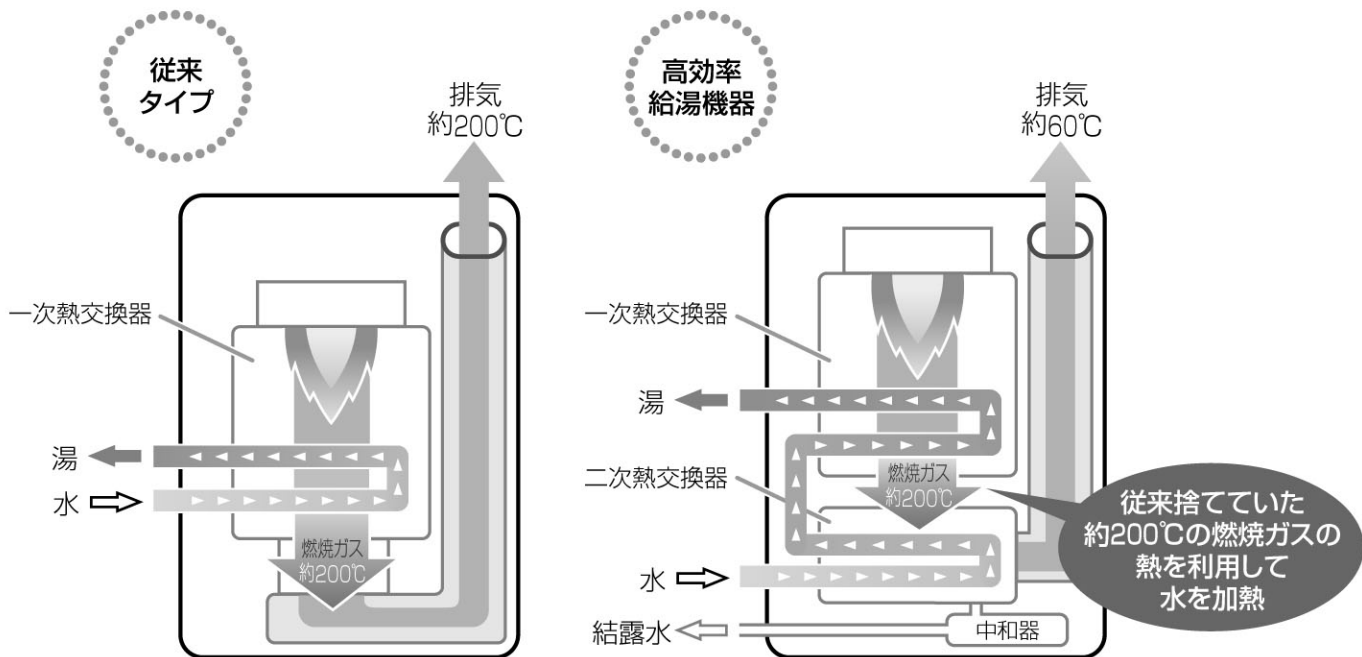
- \* この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。
- なお、別梱包の取扱説明書がある場合は、必ずそちらも併せてお読みください。
- \* 保証書(裏表紙)は必ず設置日・販売店名などの記入を確かめてください。
- \* この取扱説明書(保証書付)はいつでもご覧になれるところに保管してください。



# 高効率給湯機器のしくみ

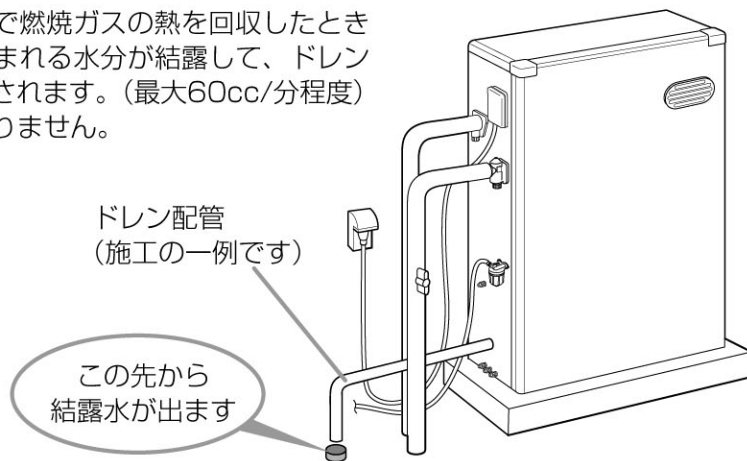
一次熱交換器であたためたときに、燃焼ガスが出ます。

高効率給湯機器では、従来捨てていた燃焼ガスに含まれる熱を二次熱交換器で回収し、その熱を利用して水を加熱します。



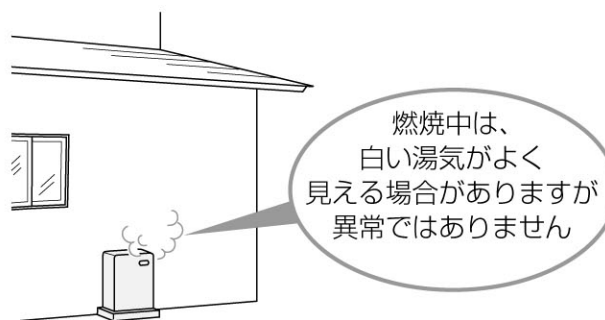
高効率給湯機器では  
結露水が出ます

二次熱交換器で燃焼ガスの熱を回収したとき  
燃焼ガスに含まれる水分が結露して、ドレン  
配管から排出されます。(最大60cc/分程度)  
水漏れではありません。



高効率給湯機器では  
白い湯気が  
出やすくなります

二次熱交換器で熱を回  
収された燃焼ガスは、  
熱を奪われるため温度  
が低く、また多くの水  
分を含んでいます。こ  
のため、外気に触れる  
と結露し、白い湯気  
が見えます。



# 特に注意していただきたいこと-1

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

<b>⚠警告(WARNING)</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
<b>⚠注意(CAUTION)</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
<b>お願い(NOTICE)</b>	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。

## ⚠警告(WARNING)

### ガソリン厳禁

灯油(JIS 1 号灯油)を必ず使用してください。  
ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災のおそれがあります。



ガソリン厳禁

## ⚠注意(CAUTION)

### 高温部接触禁止

燃焼中や消火直後は排気口やその周辺に手などふれないよう注意してください。やけどのおそれがあります。



接触禁止



### 高温注意

次の事項に気をつけてください。やけどのおそれがあります。



高温注意

シャワーなどお湯の使用時は、リモコンに表示の温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用する

60℃以上の高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。



浴槽の湯温を手で確認してから入浴する



シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない、運転スイッチ「切」にしない



禁止

高温に変更されたときのやけど予防のため。  
また、低温に変更されたり運転スイッチ「切」にされると、冷水になって使用者が驚く原因になります。

太陽熱温水器と接続されている場合は、お湯の温度に注意する



必ずおこなう

高温のお湯が出る場合があります。  
やけど予防のため。

異常時はただちに使用を中止する



異常燃焼・異常臭気を感じたときや、地震・火災などの緊急時は、次の手順に従ってください。必ずおこなう

1. 給湯栓を閉める
2. 運転スイッチ「切」にする
3. 送油バルブ・給水元栓を閉める
4. 販売店または、弊社に連絡する

火災・感電・故障などの予防のため。



機器の給気口がホコリ・ゴミなどでふさがっていないか確認する



必ずおこなう

不完全燃焼の原因になります。

# 特に注意していただきたいこと-2

(つづき)

## ⚠️注意(CAUTION)

### 電源プラグはぬれた手でさわらない

感電の原因になります。



ぬれ手禁止



感電注意

### 電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不十分だと、感電や火災の原因になります。



必ずおこなう

### 電源プラグのホコリは定期的に取り除く

ホコリがたまると、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



必ずおこなう

### 電源コード、電源プラグの破損・加工をしない 束ねたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、物を載せたり、衝撃を与えたりして無理な力を加えない。傷つけない。加工をしない。

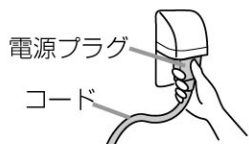
感電、ショート、火災の原因になります。



禁止

### 電源プラグは、コードを持たずに電源プラグを持って抜く

コードを持って抜くと、コードが破損し、発熱、火災、感電の原因になります。



必ずおこなう

### 長期間使用しないときは電源プラグを抜く

長期間使用しないときは、電源プラグを抜くとともに、凍結を予防するため、必要な処置をしてください。(P19)  
火災や予想しない事故の原因になります。



電源プラグを抜く

### 排気口のすぐ前に物を置かない

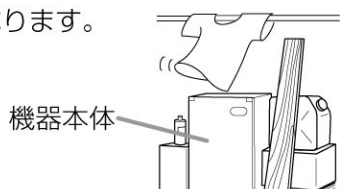
異常燃焼や火災の原因になります。



禁止

### 燃えやすい物をまわりに置かない (洗濯物、新聞紙、灯油など)

火災の原因になります。



禁止

### 変質灯油・不純灯油を使用しない

変質灯油(日光の当たる場所や温度の高い場所で長期間保管して変質した灯油)や、不純灯油(灯油以外の油・水・ゴミなどが混入した灯油)は使用しないでください。  
機器の故障の原因になります。



禁止

### ガソリン、ベンジンなど、引火のおそれのある物を機器本体や排気口のまわりで使用しない

火災の原因になります。



禁止

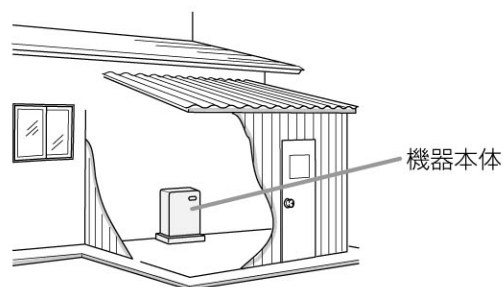
### スプレー缶やカセットこんろ用ボンベを、機器本体や排気口のまわりに置かない、使用しない

熱でスプレー缶の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。



禁止

### 増改築などで屋内状態にしない (波板囲いなどをしない)



禁止

一酸化炭素中毒・火災の原因になります。

### 機器の点検・お手入れ・水抜きをする場合、 運転スイッチ「切」にし、機器が冷えてからおこなう

やけど予防のため。  
機器の使用直後は、機器内のお湯が高温になっています。



必ずおこなう

### リモコンには磁石を使用していません

磁石の力は非常に微弱ですが、ペースメーカーなど医療機器を使用している方は、医師とご相談のうえ使用してください。

### 子供を機器の周囲で遊ばせない

思わぬ事故の原因になります。



禁止

### ドレン配管から排出される結露水を、飲料用・飼育用などに使用しない



禁止

この機器の電源はAC100V、50Hzまたは60Hz用です



他の電源で使用すると、故障・火災の原因になります。必ずおこなう

外壁の塗装や増改築、家屋の修繕時などに機器本体(排気口)が養生シートで覆われた場合は、機器を使用しない



禁止

不完全燃焼や一酸化炭素中毒、爆発着火の原因になります。

オイルタンクや送油管の接合部などから油漏れがないことを確かめる



油漏れにより、火災の原因になります。必ずおこなう

ゴム製送油管を屋外で使用しない



禁止

油漏れにより火災のおそれがあります。

子供を浴室内で遊ばせない  
子供だけで入浴させない



禁止

思わぬ事故の原因になります。

お客さまご自身では絶対に分解したり、修理・改造はおこなわない



分解禁止

思わぬ事故や故障の原因になります。

給湯、シャワー、お湯はり以外の用途には使用しない



禁止

思わぬ事故を予防するため。

乾電池に関する注意(取り替え機器についてのお願い)

機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。

もしお客さまで旧機器の処理をされる場合、乾電池を使用している機器は、乾電池を取り外してから正規の処理をしてください。

## お願い(NOTICE)

雷が発生しはじめたら、すみやかに運転を停止し、電源プラグを電源コンセントから抜く(またはブレーカーを落とす)

雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。

雷がやんだあとは電源プラグを電源コンセントに差し込み、時計を合わせてください。

※冬期は、電源プラグを長時間抜くと凍結のおそれがあります。

※落雷被害に有効な火災保険へのご加入をおすすめします。



ぬれた手でさわらない  
(感電のおそれがあります)



電源プラグを抜く



ぬれ手禁止



感電注意

温泉水、井戸水、地下水で使わない

水質によっては、機器内の配管に異物が付着したり、腐食して水漏れすることがあります。

この場合の修理は保証期間内でも有料になります。

長期間使用しない場合、必要な処置をする(☞P19)

凍結および万が一の灯油漏れを防止するため。

浴槽、洗面台はこまめに掃除する

湯あかが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと、せっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、青く変色することがあります。

積雪時には給気口・排気口の点検、除雪をする

雪により給気口・排気口がふさがれると不完全燃焼し、機器の故障の原因になることがあります。

運転ランプの消灯を確認する

おやすみやお出かけになるときは、運転スイッチ「切」の状態であることを確認してください。

機器や配管に長時間たまった水や、朝一番のお湯は飲まない、調理に使用しない

雑用水として使用してください。

停電後や、長期不在などで電源プラグを抜いたあとは、現在時刻を確認する

時計がリセットする場合があります。

停電すると、運転が停止します

この機器の純正部品以外は使用しない

思わぬ事故の原因になります。

(つづく)

# 特に注意していただきたいこと-3

(つづき)

## お願い(NOTICE)

### 断水時は運転を停止し、給湯栓を閉める

給湯栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したときに水が流れっぱなしになります。

### 断水復帰後の使い始めのお湯は飲まない、調理に使用しない

断水したときは飲用や調理用に適さない水が配管にとどまることがあります。

### 断水復帰後は、給湯栓から充分水を流してから使用する

### 台所リモコンは0℃～40℃の室温で使用する

故障の原因になります。

### リモコンを分解しない

故障や、思わぬ事故の原因になります。

### リモコンの掃除には、塩素系のカビ洗浄剤や酸性の浴室用洗剤などを使用しない

変形する場合があります。

### 台所リモコンに、水しぶきをかけない、蒸気を当てない

炊飯器、電気ポットなどに注意。故障の原因になります。

### リモコンを子供がいたずらしないよう注意する

### 凍結による破損を予防する(☞P18～20)

暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、必要な処置をしてください。凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

### 機器のまわりはきれいにしておく

まわりが雑草、木くず、箱などで雑然としていると、機器の内部にゴキブリが侵入したりクモの巣がはったりして、機器の損傷や火災の原因になることがあります。

### スス取り剤を使用しない

スス取り剤を使用すると、熱交換器などの損傷を起こす場合がありますので、絶対に使用しないでください。

### 灯油は必ず火気・雨水・ゴミ・高温・直射日光をさけた場所に保管する

灯油が変質する原因になります。

### 運転スイッチ「切」時にはお湯側から水を出さない

お湯を出すときには、運転スイッチ「入」を確認してください。

運転スイッチ「切」時にお湯側から長時間水を出すと熱交換器内に結露現象が発生し、不完全燃焼の原因になったり、電気部品の損傷の原因になる場合があります。シングルレバー式混合水栓の場合は、レバーを完全に水側にセットしてから水を出してください。

### 排気ガスが直接建物の外壁・窓・アルミサッシなどや、物置などの塗装品などに当たらないように設置する

### 増改築時も同様に注意する

ガラスが割れたり、変色したり、塗装がはがれたりする原因になります。

### 塀などを増設する場合は、機器の点検・修理に必要な空間を確保し、空気の流れが停滞しないように考慮する

塀などと機器との間に十分な空間がないと、機器の点検・修理に支障をきたす場合があります。

また、機器の周囲の空気の流れが停滞すると、燃焼不良になるおそれがあります。

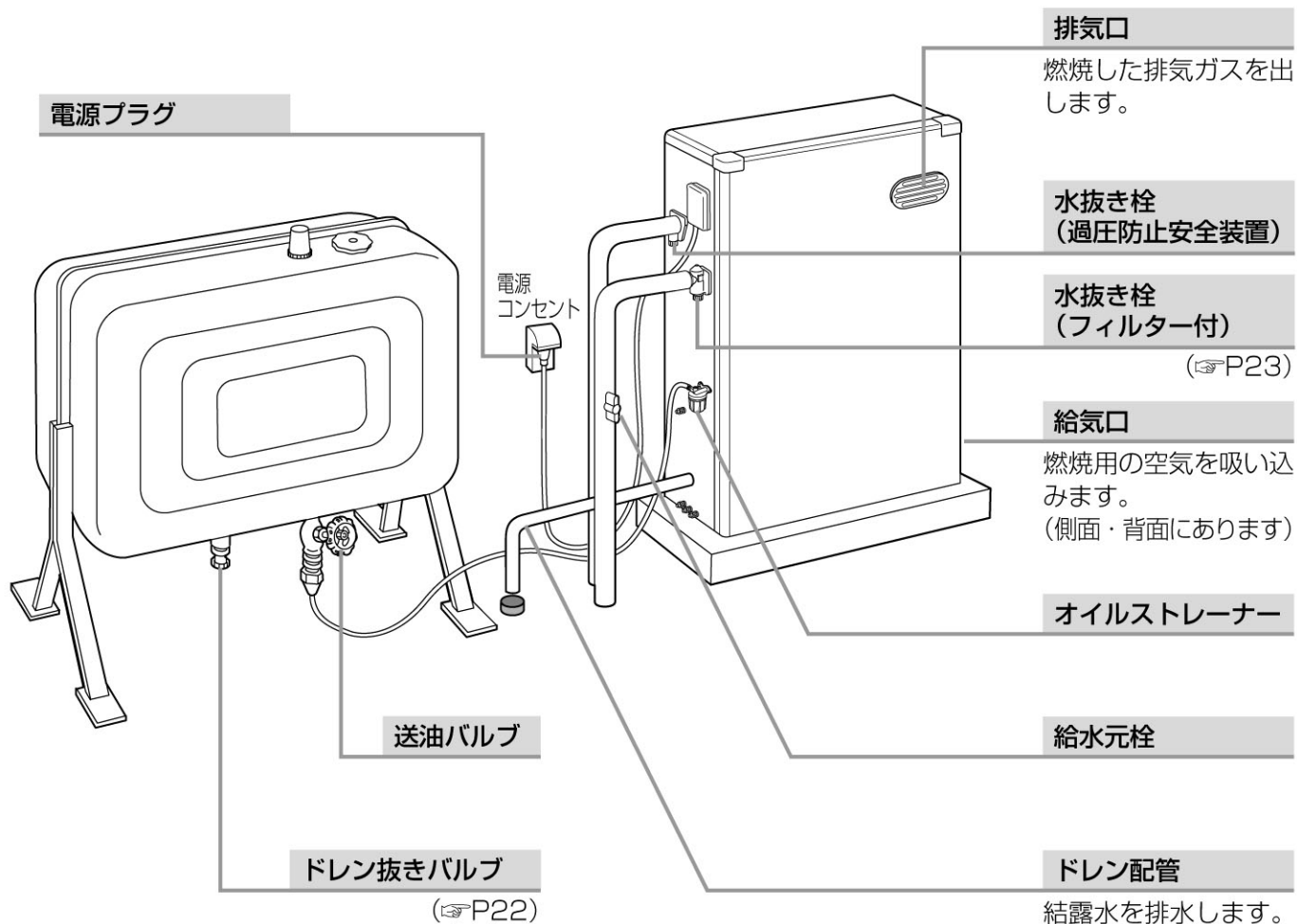
(機器の修理・点検に必要な空間については、販売店または、弊社に確認してください)

### 業務用の用途では使用しない

この製品は家庭用ですので、業務用の用途で使用すると製品の寿命を著しく縮めます。この場合の修理は、保証期間内でも有料になります。

# 各部のなまえとはたらき(機器本体)

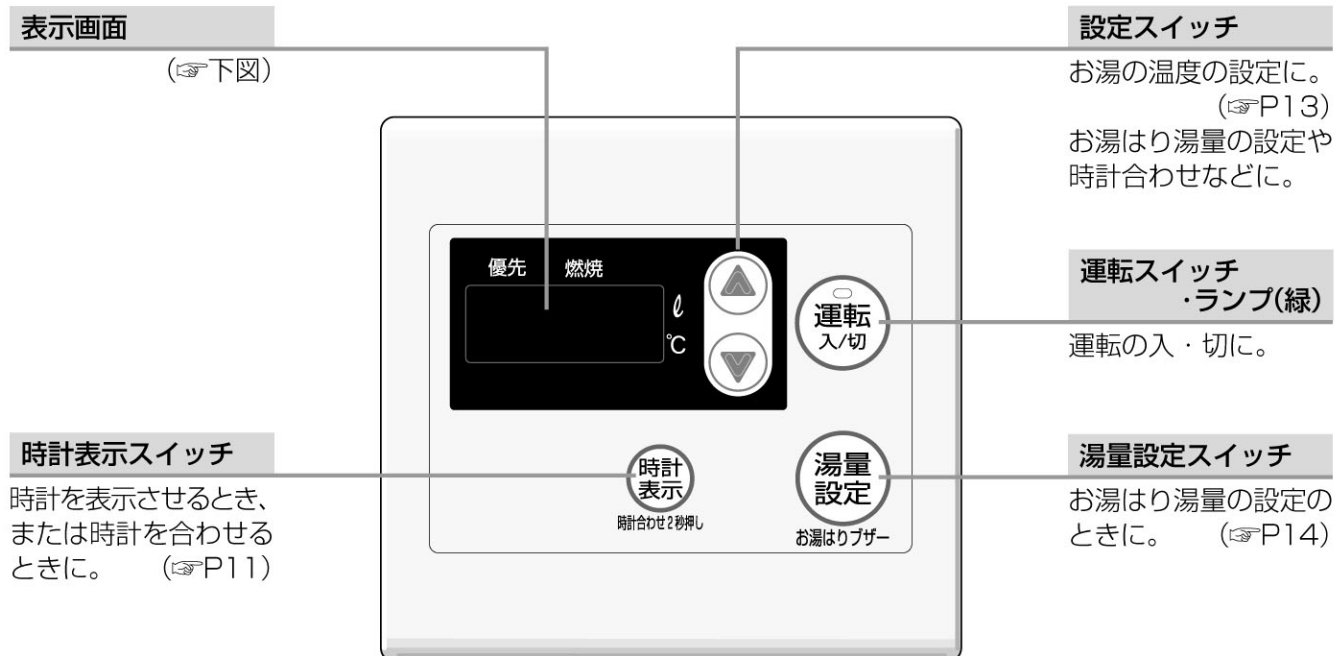
イラストは施工例です。配管の形状、給水元栓・オイルタンク・電源コンセントの位置など実際と異なります。



# 各部のなまえとはたらき(リモコン)

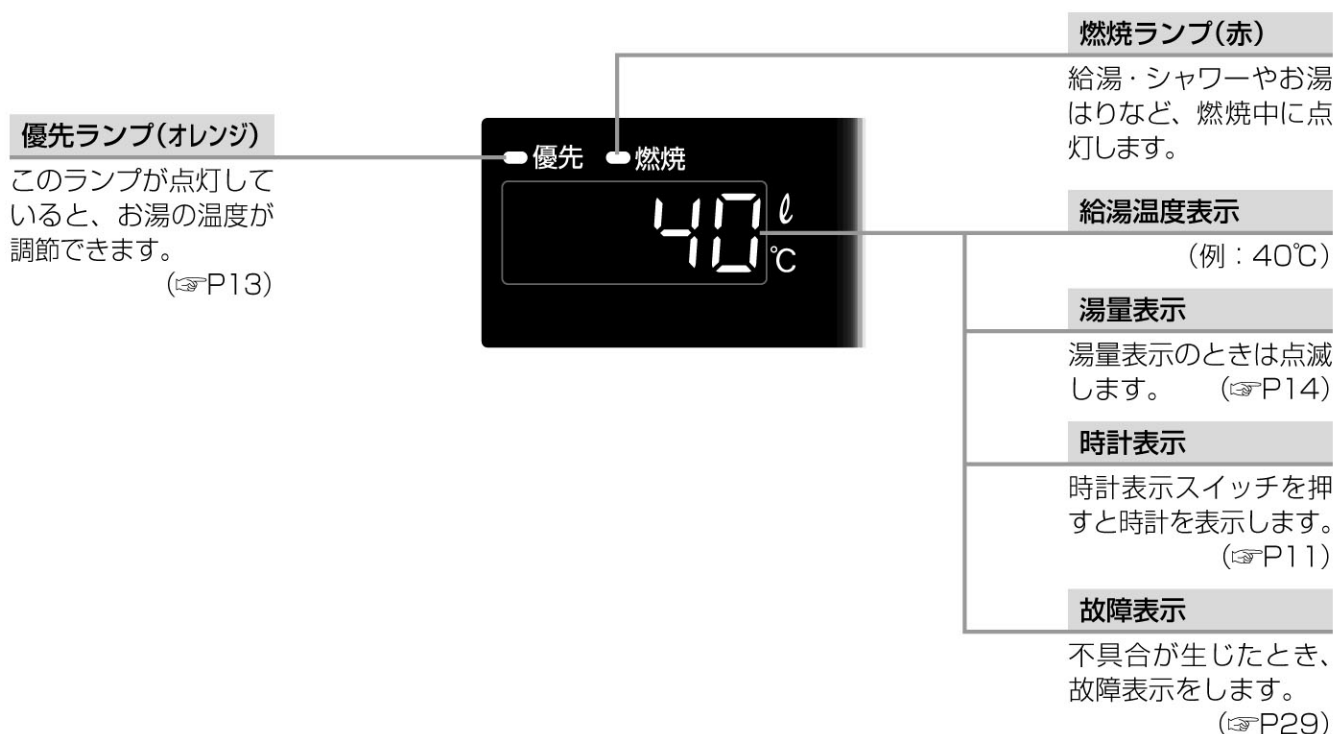
## 台所リモコン(M-034DS) <別梱包>

\* 台所などに付いているリモコンです。スイッチを押すと操作音が鳴ります。



## ● 表示画面 ●

下記の表示画面は説明用です。実際の運転のときは、運転の状態によって異なる表示をします。





# 使用前の準備-1

⚠️注意	🚫	排気口のすぐ前に物を置かない	⚠️注意	🚫	燃えやすい物をまわりに置かない (洗濯物、新聞紙、灯油など)
異常燃焼や火災の原因になります。			火災の原因になります。		
⚠️注意	❗	オイルタンクや送油管の接合部などから油漏れがないことを確かめる			
油漏れにより、火災の原因になります。					

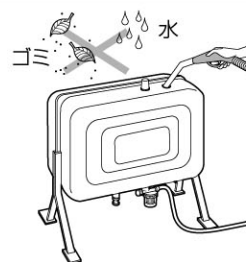
## 燃 料

⚠️警告	🚫	ガソリン厳禁
灯油(JIS 1 号灯油)を必ず使用してください。 ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災のおそれがあります。		
⚠️注意	🚫	変質灯油・不純灯油を使用しない
変質灯油(日光の当たる場所や温度の高い場所で長期間保管して変質した灯油)や、不純灯油(灯油以外の油・水・ゴミなどが混入した灯油)は使用しないでください。機器の故障の原因になります。		

## 給 油

### ● オイルタンクへの給油の際の注意 ●

- \* 必ず運転スイッチ「切」にしてからおこなってください。
- \* 水やゴミが入らないよう、特に注意してください。
- \* 給油が終わった後、給油口のふたは確実に閉めてください。
- \* こぼれた灯油は、よくふきとってください。



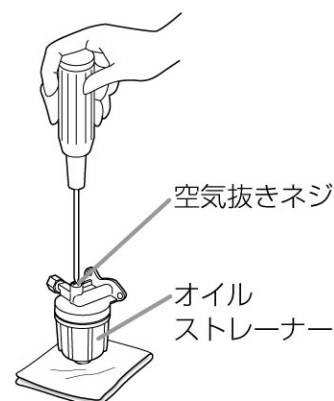
### ● オイルタンクを空にしないでください ●

- \* 空にすると、着火がスムーズにできない場合があります、その際に空気抜きが必要になります。

### ● 空気抜きの方法 ●

オイルタンクを空にすると、送油配管内に空気は入り、次回使用するときに着火がスムーズにできない場合があります。

1. 給油後、オイルタンクの送油バルブを開く。
2. 灯油が出るため、機器内のオイルストレーナーの下に布などを敷いて受ける。  
(オイルストレーナーの位置☞P7)
3. オイルストレーナーの空気抜きネジをゆるめる。
4. 空気抜きネジから灯油があふれ出たら、空気抜きネジを元の位置までしっかりと締め付ける。(空気抜きが完了です)
5. こぼれた灯油をよくふき取る。



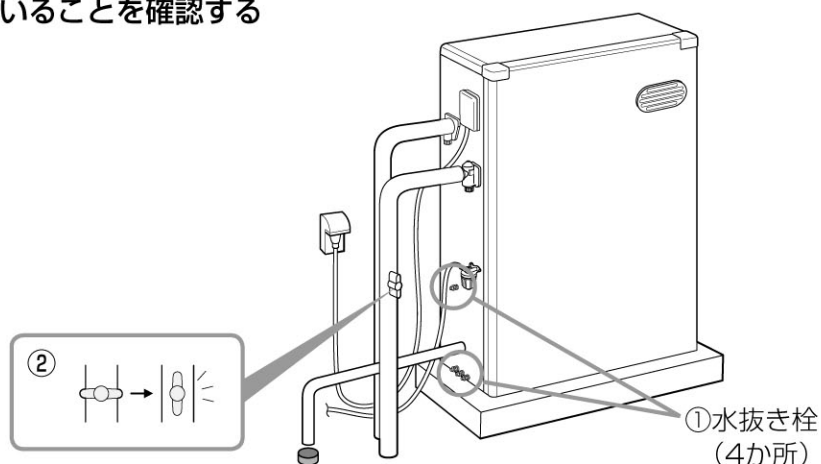
# 使用前の準備-2

## 運転開始前の準備と確認

1

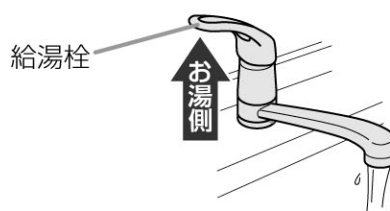
①すべての水抜き栓が閉まっていることを確認する

②給水元栓を全開にする



2

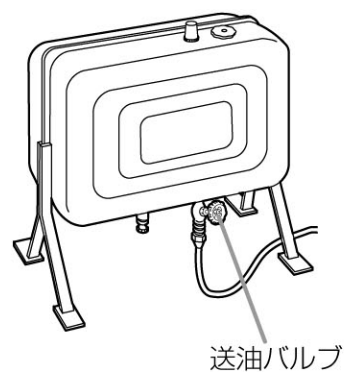
給湯栓を開けて水が出ることを確認し、再度閉める



3

①オイルタンクの送油バルブを全開にする

②オイルタンクや送油管の接合部などから油漏れがないか、確認する

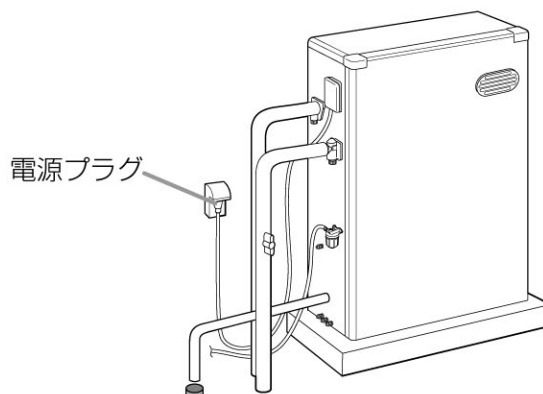


4


電源プラグを電源コンセントに差し込む

**ぬれた手でさわらない**

(対震自動消火装置が自動的にセットされます)



5

リモコンの  を「入」にし、再度押して「切」にする

# 時計を合わせる・時計を表示させる

【台所リモコン】



操作	操作後の画面	お知らせ
<p><b>1</b></p> <p><b>時計表示</b> を長押しする(約2秒間)  <small>時計合わせ2秒押し</small>                      (ピッと鳴り、時計表示が点滅するまで)</p>		<p>* <b>運転入/切</b> の「入」「切」に関係なく、設定できます。</p>
<p><b>2</b></p> <p><b>↑</b> <b>↓</b></p> <p>で時計を合わせる</p>	<p>(例：午前10時15分)</p>	<p>* 一度押すごとに1分ずつ、長押しすると10分ずつ変わります。</p>
<p><b>3</b></p> <p><b>時計表示</b> を押す  <small>時計合わせ2秒押し</small>                      【時計合わせ完了】</p>		<p>* 元の画面に戻ります。                      * 約30秒そのままにしても設定完了します。</p>

## ● 時計を表示させたいとき

<p><b>時計表示</b> を押す  <small>時計合わせ2秒押し</small></p>	<p>* もう一度押すと、表示が消えます。</p>
--	---------------------------

\* 停電後または電源プラグを抜いたあと、再通電すると「0:00」に表示が変わりますので、時計合わせをしておいてください。

\* 時計表示中に、お湯を使用したりお湯の温度を変更したりすると、時計表示は消えます。

\* お湯の使用や、60℃・75℃の高温設定時に時計表示スイッチを押した場合、約10秒間時計表示し、その後、元の表示に戻ります。

\* 時計表示をしているときは、表示の節電はしません。

# お湯を出す

【台所リモコン】



操作	操作後の画面	お知らせ
----	--------	------

**1** を「入」にする

(例：40°C)

\* ランプ点灯。  
\* 現在の給湯温度を表示します。

**2** 給湯栓を開ける

燃焼中 点灯

給湯量と温度の早見表			
給湯量 L/min			
水温	8°C (冬期)	18°C (春・秋期)	28°C (夏期)
40°C	約21.0	約30.5	(約55.5)
48°C	約17.0	約22.5	(約34.0)
60°C	約13.0	約16.0	約21.0
75°C	約10.0	約11.5	約14.0

※ ( )内は湯、水を混合した値です。  
※ここでの給湯量は、機器から出湯できる最大量を記載しています。(実際の給湯栓から出る最大量とは異なる場合があります)

● お湯を止めたいとき

給湯栓を閉める

消灯

<b>⚠注意</b>		シャワーなどお湯の使用時は、リモコンに表示の温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用する	<b>⚠注意</b>		シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない、運転スイッチ「切」にしない
60°C以上の高温で使ったあと、あらためて使用するときには特に注意してください。 やけど予防のため。			高温に変更されたときのやけど予防のため。また、低温に変更したり運転スイッチ「切」にすると、冷水になって使用者が驚く原因になります。		

# お湯の温度を調節する

【台所リモコン】



操作	操作後の画面	お知らせ
<b>1</b> を「入」にする	 (例：40°C)	*  ランプ点灯。 * 現在の給湯温度を表示します。
<b>2</b> で調節する	 (例：42°C)	

使いかた

## ● お湯の温度の目安 ●

											(°C)				
32	35	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	60	75
ぬるめ	食器洗いなど		シャワー、給湯など				給湯など				高温				

<高温設定時の表示例>

約10秒間点滅 → 点灯

- \* 目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。
- \* 低い給湯温度(ぬるめ・食器洗いなど)に設定した場合、水温が高いとその温度にならないことがあります。
- \* 表示の温度をよく確かめてから使用してください。高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。
- \* サーモスタット付混合水栓の場合は、リモコンの給湯温度をご希望の温度より約10°C高く設定すると、ちょうどよくなります。

**△注意**



シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない、運転スイッチ「切」にしない

高温に変更されたときのやけど予防のため。また、低温に変更されたり運転スイッチ「切」にされると、冷水になって使用者が驚く原因になります。

# お風呂にお湯はりをする<お湯はりブザー>








【台所リモコン】



\*お湯はり湯量を設定しておく、その量になったときにリモコンのお湯はりブザーが鳴ってお知らせします。(お湯は自動的に止まりません)  
\*お湯はり中に、台所や他でお湯を使用すると、使用した分だけお湯はり湯量が少なくなります。

操作	操作後の画面	お知らせ
<p><b>準備</b></p>		
<p><b>1</b>  を「入」にする</p>	<p>(例：40°C)</p>	<p>*  ランプ点灯。 * 現在の給湯温度を表示します。</p>
<p>&lt;お湯はり温度を調節する場合&gt;</p> <p> で調節する</p>	<p>(例：42°C)</p>	
<p>&lt;お湯はり湯量を調節する場合&gt;</p> <p> を押し、 お湯はりブザー 湯量表示が点滅している間に  で調節する</p>	<p>(例：180L)</p> <p>▼</p> <p>(例：160L)</p>	<p>* 40～260(20Lきざみ)・300・350・400・990Lの値で調節できます。(目安の量) * 990Lの場合、ブザーは鳴りません。 * 約10秒後、温度表示に変わります。</p>

<b>⚠注意</b>	<b>!</b>	お風呂にお湯はりをするときは、リモコンに表示の温度をよく確かめる
リモコンの給湯温度でお湯はりします。		
<b>⚠注意</b>	<b>⊘</b>	お湯はり中は、給湯温度を変更しない、運転スイッチ「切」にしない
高温に変更されたときのやけど予防のため。また、低温に変更したり運転スイッチ「切」にすると、冷水になって使用者が驚く原因になります。		

操作	操作後の画面	お知らせ
<b>2</b> 給湯栓を開ける 【お湯はり開始】 		* サーモ付混合水栓の場合は、水栓側の温度設定を最高温度にしてお湯はりしてください。中間の位置で使用すると、水が混ざるため浴槽からお湯があふれたり、ぬるくなる場合があります。 
<b>3</b> 設定した量が入るとブザー(ピッピ音)が鳴ってお知らせするので… 		* 設定した湯量程度のお湯が入ったのに、お湯はりブザーが鳴らないのはなぜ?(P27)
給湯栓を閉める 【お湯はり完了】 		

使いかた

● お湯はり温度の目安 ●

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるめ			ふつう				あつめ				

(℃)






- \* 50℃以上の設定もできますが、やけどのおそれがありますので、設定しないでください。
- \* お湯はり温度と給湯温度は同じです。
- \* 目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。

# リモコンの操作音を消す(鳴らす)

【台所リモコン】



\*リモコンは各スイッチを押したとき、正常に動作すると「ピッ」という操作音が鳴ります。お好みにより、この音を鳴らないようにしたり、鳴るようにしたりできます。

操作	操作後の画面	お知らせ
1  を「切」にする		*  ランプ消灯。
2  を長押しする (約5秒間)	 (表示例)	*  ランプ点灯。 * 設定後は、いずれかのスイッチを押して、操作音が鳴らない、または鳴ることを確認してください。

\* 操作音を消しても、お湯はりブザーは鳴ります。



# 表示の節電について/表示の節電の設定を変更する

## ● 表示の節電とは？ ●

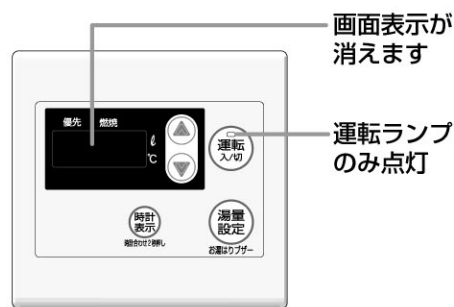
リモコンの無駄な電力消費を防ぐため、機器を使用しないまま約10分たつと、表示が消えて運転ランプのみ点灯します。

\*再使用したり、スイッチを押すと、表示の節電を解除します。

※呼出スイッチは、1回押すだけで表示の節電を解除すると同時に、機能もはたらきます。

\*安全のため、給湯温度を60℃・75℃に設定しているときは、表示の節電はしません。

\*時計表示をしているときは、表示の節電はしません。



(台所リモコン)

## ● 設定の変更のしかた ●

【台所リモコン】



使  
い  
か  
た

操作	操作後の画面	お知らせ
<b>1</b> を「切」にする		*  ランプ消灯。
<b>2</b> を表示が変わるまで お湯はりブザー 長押しする(約2秒間)	<p>(例：OFF (表示の節電する))</p>	
<b>3</b> で設定を変更する 【設定完了】	<p>(例：OFF (表示の節電しない))</p>	* 約30秒そのままにすると、元の画面に戻ります。 * そのまま機器を使用する場合は 「入」にしてください。

# 凍結による破損を予防する-1

<p><b>お願い</b></p>	<p>凍結による破損を 予防する</p>	<p>*暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、以下をお読みいただき、必要な処置をしてください。 *凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。</p>
-------------------	--------------------------	---

通常の寒さのとき  
(右の気象条件ほど厳しくないとき)

処置1 をする

●低温注意報が発令されたとき  
●外気温が極端に低いとき(-15℃以下)  
●-15℃より高くても風があるとき

処置1+2 または 処置3 をする  
※上記の気象条件の場合は、処置1のみでは凍結予防できません

長期間  
使用しないとき

処置3 をする

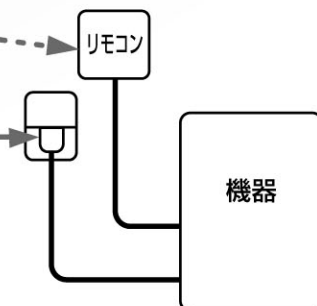
## 処置1 凍結予防ヒーターによる方法

運転スイッチ「入」「切」に関係なく、自動的に凍結予防します

電源プラグを抜かない

電源プラグを入れておくと、凍結予防ヒーターで機器内の凍結予防をします

給水・給湯配管、給水元栓、ドレン配管などの凍結は予防できません。必ず保温材または電気ヒーターを巻くなどの地域に応じた処置をしてください。(わからないときは、販売店に確認してください)



## 処置2 通水による方法

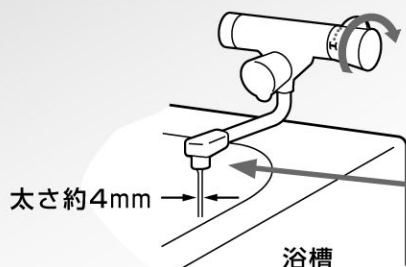
1 リモコンの運転スイッチ「切」にする

2 サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓の場合は、最高温度側にする

3 おふろの給湯栓を開き、少量の水を流したままにする  
少量の水とは・・・1分間に約400cc、太さ約4mm

4 約30分後、流れる量を確認する

流量が不安定になっている場合があります



\*機器だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓なども同時に凍結予防できます。

\*結露現象予防として、運転スイッチ「切」の状態でも給湯栓から水を出さないようにお願いしていますが(☞P6)凍結予防の処置の場合は問題ありません。

\*サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓の場合、再使用時の温度設定にご注意ください。やけど予防のため。

\*この処置をしても凍結するおそれのある場合には、P19の手順で水抜きをおこなってください。

## 処置 3 水抜きによる方法

**注意**



機器の水抜きをする場合、運転スイッチ「切」にし、機器が冷えてからおこなう

やけど予防のため。  
機器の使用直後は、機器内のお湯が高温になっています。

**準備** 水抜き栓などからお湯(水)が約2.5L出ますので、容器などで排水を受けてください

**1** 送油バルブ①、  
給水元栓②を閉める

**2** 運転スイッチ「切」に  
する

**3** すべての給湯栓を  
全開にする

給湯栓



**4** 水抜き栓③④→水抜き栓(フィルター付)⑤  
→水抜き栓⑥⑦⑧の順番に、左に回して取り外す

- \* 排水を始めます。
- \* 取り外した水抜き栓は、再使用時までなくさないように保管してください。

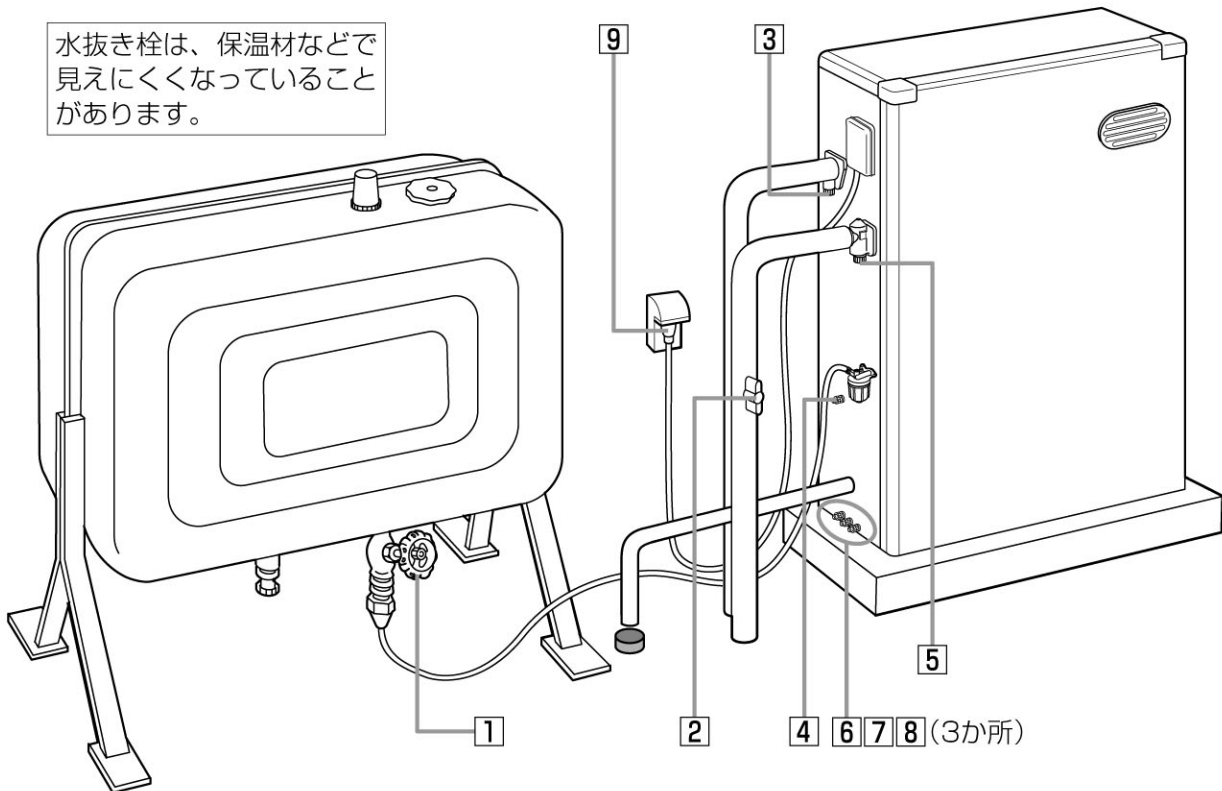
**5** すべての給湯栓  
を閉める

給湯栓



**6** 電源プラグ⑨を抜く  
ぬれた手でさわらない

水抜き栓は、保温材などで見えにくくなっていることがあります。



必要に応じて

### 水抜き後の再使用のとき

P10「運転開始前の準備と確認」に従って、使用してください。

# 凍結による破損を予防する-2

## 凍結してお湯(水)が出ないとき

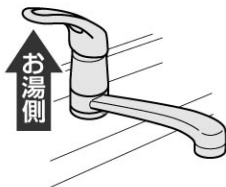
### ■ 運転スイッチを「切」にする

- \* 「入」にしていると燃焼する場合があります。
- \* 気温の上昇により自然に解凍するまで待つことをおすすめします。

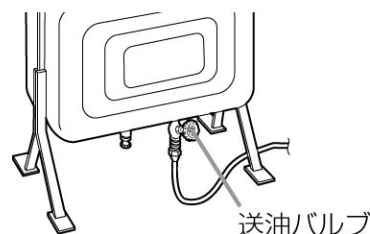
### ■ すぐにお湯を使いたい場合は、以下の方法をお試しください

**1** 運転スイッチ  
「切」にする

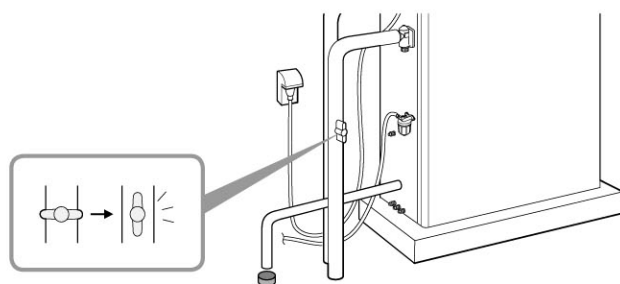
**2** 台所などの給湯栓を少し  
開けておく



**3** 送油バルブを閉める



**4** 給水元栓を回してみる(閉めてみる)



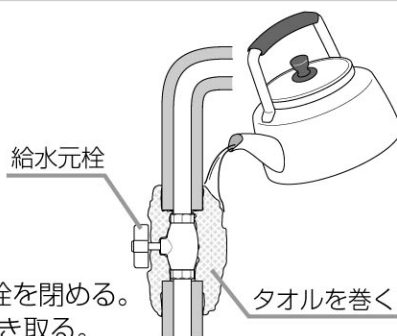
#### ■ 給水元栓が凍結して回らない場合

- 1) タオルを給水元栓のまわりに巻く。
- 2) 人肌程度(30~40℃)のぬるま湯を給水元栓に巻いたタオルにゆっくりかける。(床面などがぬれないように処置をする)

**注意**

- \* 熱湯をかけると配管が破裂するおそれがあります。
- \* 機器の電源プラグ、コード、電源コンセントにお湯がかからないように注意してください。

- 3) 給水元栓が回る(水が流れる音がする)ようになったら、給湯栓を閉める。
- 4) タオルを外し、給水元栓のまわりについた水を乾いた布でふき取る。
- 5) 今後凍結しにくいようにするため、給水元栓まわりに保温材をかぶせるなどの処置をする。(わからないときは、販売店に確認してください)



#### ■ 給水元栓が回るのに水が出ない場合

給水元栓を必ず閉め、気温の上昇により自然に解凍するのを待つか、販売店または、弊社にご連絡ください。

- \* 凍結した場合は、そのままでは絶対に使用しないでください。機器の故障の原因となります。
- \* 給湯栓から水が出るようになっても、機器や配管から水漏れがないかよく確認のうえ使用してください。

# 日常の点検・お手入れのしかた-1

**注意**



機器の点検・お手入れをする場合、運転スイッチ「切」にし、機器が冷えてからおこなう

やけど予防のため。  
機器の使用直後は、機器内のお湯が高温になっています。

## 点検(定期的)

**チェック**

機器や排気口のまわりに洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など、燃えやすいものを置いていないか？

➡ 燃えやすいものを置かない。

**チェック**

オイルタンクや送油管の接合部などから油漏れがないか？

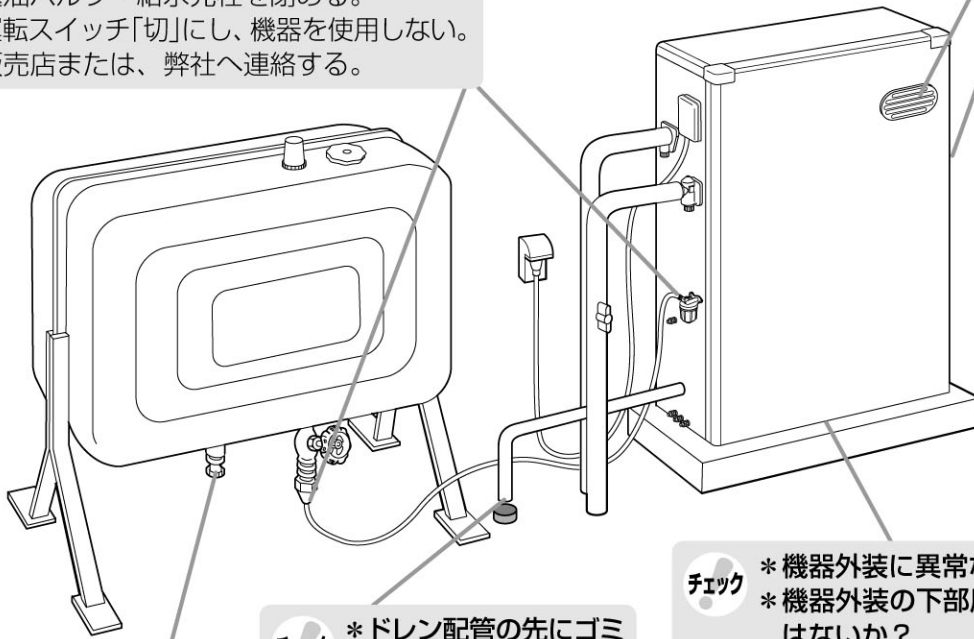
➡ 【油漏れがあった場合】

1. 送油バルブ・給水元栓を閉める。
2. 運転スイッチ「切」にし、機器を使用しない。
3. 販売店または、弊社へ連絡する。

**チェック**

排気口・給気口(側面・背面)がホコリなどでふさがっていないか？

➡ ふさがっている場合は、掃除する。



**チェック**

\* ドレン配管の先にゴミ詰まりなどがないか？  
\* ドレン配管の先が水につかっているか？

➡ ゴミなどは取り除く。

**チェック**

\* 機器外装に異常な変色はないか？  
\* 機器外装の下部周辺などにサビや穴開きはないか？  
\* 運転中に機器から異常音が聞こえないか？  
\* 機器・配管から水漏れはないか？

➡ 現象があった場合は、販売店または、弊社へ連絡する。

**チェック**

オイルタンクのドレン抜きバルブから油漏れがないか？

➡ 【油漏れがあった場合】

1. オイルタンク下部のドレン抜きバルブの下に、灯油を受ける容器を置く。
2. ドレン抜きバルブを開け、約10～20cc排水する。
3. しっかりとドレン抜きバルブを閉める。(出た灯油にゴミや異物が混じていなければ、灯油をオイルタンクへ戻してください)

※しばらく様子を見て、それでも漏れるようであれば、販売店または、弊社へご連絡ください。

必要に応じて

# 日常の点検・お手入れのしかた-2

## お手入れ(定期的)

### ● 機器本体 ●

機器本体の外装の汚れは、ぬれた布で落したあと充分水気をふきとってください。  
特に汚れのひどいときには、中性洗剤を使用してください。

### ● リモコン ●

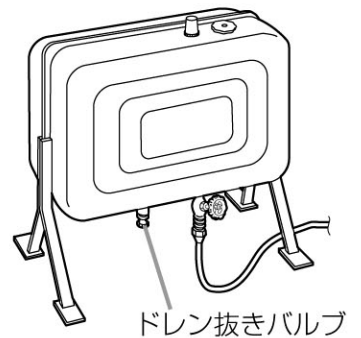
リモコンの表面が汚れたときは、湿った布でふいてください。

<b>お願い</b>	リモコンの掃除には、塩素系のカビ洗浄剤や酸性の浴室用洗剤などを使用しない	<b>お願い</b>	リモコンに、水しぶきをかけない、蒸気を当てない、故意に水をかけない
変形する場合があります。		炊飯器、電気ポットなどに注意。故障の原因になります。	

### ● オイルタンク ●

オイルタンクに水が混じると、オイルタンク内部のサビ発生や不完全燃焼の原因になるため、定期的に水抜きをしてください。

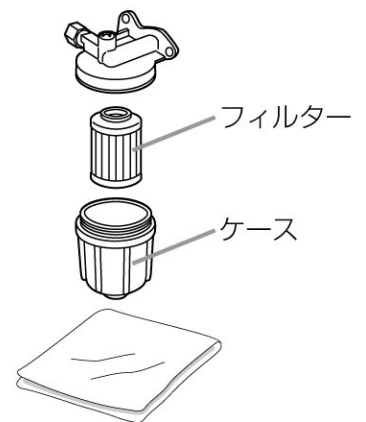
1. オイルタンク下部のドレン抜きバルブの下に、灯油を受ける容器を置く。
2. ドレン抜きバルブを開け、約200cc排水する。
3. 容器にたまった液体が分離していれば灯油に水が混じっているので、一度容器を空にし、再度約200cc排水する。(分離しなくなるまで、くりかえす)  
※分離していなければ、水は混じっていません。
4. 水抜きが完了したら、ドレン抜きバルブを閉める。(出た灯油に水・ゴミ・異物が混じっていなければ、出た灯油はオイルタンクへ戻してください)



### ● オイルストレーナー ●

オイルストレーナーにゴミや水がたまるので、定期的に掃除をしてください。  
※方法がわからない場合は、販売店にご相談ください。

1. オイルタンクの送油バルブを閉じる。
2. オイルストレーナーの下に、送油経路内の灯油を受ける布などを用意する。
3. ケースを左に回して外す。
4. フィルターを下に引き外し、灯油で洗う。  
(汚れのひどいときはフィルターの交換(有料)が必要です。販売店へご連絡ください)
5. 元どおり取り付け。
6. オイルタンクの送油バルブを開ける。
7. 油漏れのないことを確認する。



## ● 水抜き栓のフィルター ●

水抜き栓のフィルターにゴミなどが詰まると、お湯の出が悪くなったりお湯にならない場合がありますので、以下の方法で掃除をしてください。

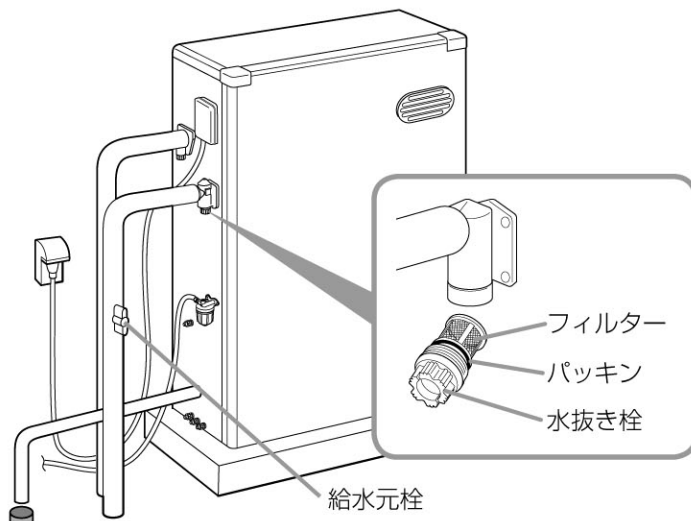
※お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、運転スイッチ「切」にして機器が冷えてからおこなってください。(やけど予防のため)

※水抜き栓からお湯(水)が出ますので、機器の下に容器などを置いて排水を受けてください。

1. 給水元栓を閉める。
2. すべての給湯栓を開ける。
3. 水抜き栓を左に回して外す。(※1)
4. フィルター部分を歯ブラシなどで水洗いする。  
(※2)
5. 元どおりに水抜き栓を取り付ける。
6. すべての給湯栓を閉める。
7. 給水元栓を開け、水抜き栓の周囲に水漏れがないことを確認する。

(※1)このとき水(湯)が出るので注意してください。

(※2)水抜き栓からフィルターが外れた場合は、水抜き栓とフィルターの中のパッキンをなくさないように注意してください。



## 定期点検(有料)

長期間ご使用になると、機器の点検が必要です。1年に1回程度、販売店または、修理資格者[(財)日本石油燃焼機器保守協会(TEL 03-3499-2928)でおこなう技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など]のいる店などに点検依頼されることをおすすめします。

# 法定点検について

お買い上げいただいた製品は、消費生活用製品安全法（消安法）の長期使用製品安全点検制度で指定された特定保守製品です。

## ● 特定保守製品とは ●

「消費生活用製品のうち、長期間の使用に伴い生ずる劣化（経年劣化）により安全上支障が生じ、一般消費者の生命又は身体に対して特に重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品であって、使用状況等からみてその適切な保守を促進することが適当なもの（消安法第2条第4項）」として指定された製品です。

## ● 法定の点検期間になったら点検を受けてください ●

- ・ 特定保守製品は、経年劣化による重大事故を防止するために、設計標準使用期間に基づいて製品ごとに設定された点検期間中に点検を受けることが、製品の所有者の責務として求められています（消安法第32条の14）。本製品に表示している点検期間になりましたら、必ず点検を受けてください。（点検は有料です）
- ・ なお、法定点検の後もご使用を継続する場合には、こまめに点検を受けることが本製品を安全にお使いいただくために必要となりますので、ご注意ください。
- ・ 法定点検は、その時点で点検基準に適合しているかどうかの確認であって、その後の安全を担保するものではありません。

## ● 法定の所有者登録をしてください ●

- ・ 特定保守製品の所有者は、この製品の製造（輸入）事業者が法定の所有者登録をすることが求められています（消安法第32条の8第1項）。製品に同梱している「所有者票」に記載している《所有者情報の登録方法》に従って、ご登録をお願いします。
- ・ ご登録いただいた所有者情報は、消安法、個人情報保護法および当社規定により適切な安全対策のもとに管理し、法定点検やリコール等の製品安全に関するお知らせをする場合以外には使用いたしません。

## ● 登録していただいた所有者情報に変更がありましたらご連絡ください ●

- ・ 所有者情報に変更があった場合、この製品の製造（輸入）事業者に変更の連絡をすることが求められています（消安法第32条の8第2項）。引っ越しなどで所有者情報に変更がありましたら、速やかに「所有者票」に記載している《所有者情報の登録方法》に掲げる問合せ連絡先にご連絡ください。ご連絡いただかない場合、法定点検やリコール等の製品安全に関するお知らせが正しく届かないことがあります。

## ● 法定の点検通知をいたします ●

- ・ 法定の所有者登録をしていただいた方に、登録情報に基づいて点検期間の開始前に法定の点検通知をいたします（消安法第32条の12）。
- ・ 点検期間については、製品本体の表示、もしくは製品に同梱している「所有者票（お客さま控え）」をご覧ください。

### 【本製品の設計標準使用期間について】

本製品は、設計標準使用期間\*を10年と算定しており、適切な点検をすることなく、この期間を超えて使用すると、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

※設計標準使用期間とは、標準的な使用条件の下で、適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理がおこなわれた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間で、製品ごとに設定されるものです（消安法第32条の3）。

【無料修理保証期間】とは異なるのでご注意ください。（無料修理保証期間は無料修理保証書を参照願います）



## <設計標準使用期間の算定の根拠>

本製品の設計標準使用期間は、次のように設定しています。

- 1) 始期……製造年月
- 2) 終期……JIS S 2071「標準使用条件」に基づいて想定した以下の使用条件にて、当社において耐久試験等をおこない、その結果算出された数値等に基づいて、「経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないこと」を確認した時期

### ■使用条件（給湯）

項目	条件
1. 家族構成	4人世帯
2. 季節	中間期（春・秋）
3. 気温・湿度	20℃・65%
4. 電源電圧・周波数	AC100V・50/60Hz
5. 給水温度	15℃
6. 出湯温度	40℃
7. 1日使用量	456リットル
8. 1日使用時間	1時間
9. 1年使用日数	365日

### <ご注意ください>

使用頻度・使用環境・設置場所が標準的な使用条件と異なる場合、または、業務用等本来の目的以外の方法で使用された場合は、本体に記載の設計標準使用期間よりも短い期間で経年劣化が起きる可能性があります。これに該当するような場合は、下記の「お問合せ先」にご連絡ください。

## ● 点検について ●

法定点検は、長府工産または長府工産が委託した事業者がおこないます。

### 【点検の内容について】

- ・ 特定保守製品について、点検期間中に点検基準に従って実施する有料の法定点検です。
- ・ 点検基準は消安法省令に定められており、製品区分ごとに点検項目・点検内容が定められています。
- ・ 点検の結果は、点検結果表にてお知らせします。
- ・ 点検の結果、不適合となった場合には可能な限りの選択肢をお知らせします。この場合、整備(修理を含む)をおこなって使用を継続するかどうかはお客さまの判断となります。

### 【点検の料金について】

点検料金は、お客さまにご負担いただきます。また、点検の結果、整備が必要となった場合は、別途整備費用(有料)が発生いたします。  
点検料金は技術料、出張料などを合計した金額となります。

なお、点検料金の設定の基準等や、点検要請に対して速やかに対応できるよう全国に配置しておりますサポート拠点については、下記のアドレスからご覧いただけます。

<http://www.chofukosan.com/>

インターネットでご確認できない場合は、弊社にご連絡ください。

### 【本製品の点検の結果必要となると見込まれる整備用部品の保有期間】

整備用部品とは、法定点検の結果、不備が認められた場合に、安全性を確保(回復)させるために必要な部品であり、補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)とは異なります。

- (1) 点火・消火装置に関する部品：製造打切後11年  
点火プラグ・イグナイター・フォトリランジスター
- (2) 水・湯・燃料通路に関する部品：製造打切後11年  
サーミスター・パッキン・Oリング
- (3) 安全装置に関する部品：製造打切後11年  
感震器・ハイリミットスイッチ・温度ヒューズ・オイルセンサー

※補修用性能部品の保有期間はP33をご覧ください。

### 【本製品の日常的におこなうべき点検・お手入れ】

P21～23に従って、おこなってください。

### 【任意の定期点検について】

P23をご覧ください。

## 本製品の点検等に関するお問合せ先

長府工産株式会社 お客様窓口

Tel : 0120-495-441

# 故障・異常かな？と思ったら-1

	こんなときは	こんなことが考えられます	処置
お湯・シャワー	給湯栓を開いてもお湯が出てこないお湯にならない	オイルタンクの送油バルブ・給水元栓が全開になっていない。	送油バルブ・給水元栓を全開に。
		断水している。	復旧を待つ。
		給湯栓が充分開いていない。	給湯栓を充分に開ける。
		灯油がなくなっている。	灯油を補充し、運転スイッチを「切」「入」する。
		水抜き栓のフィルターにゴミなどが詰まっている。	☞P23
		凍結している。	☞P20
		運転スイッチ「切」になっている。	運転スイッチ「入」に。
		送油経路に空気が残っている。	空気抜きをする。☞P9
		夏場などの水温が高いときに、低温のお湯を少量出そうとすると、お湯になりません。	設定温度を上げるか、給湯栓をもっと開いて使用する。
		お湯が出てくるまで時間がかかる	機器から給湯栓まで距離があるためです。
低温のお湯が出ない	給水元栓が全開になっていない。	給水元栓を全開に。	
	給湯温度の設定が合っていない。	☞P13	
	夏場などの水温が高いときに低温のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなる場合があります。	給湯栓をもっと開いて使用する。	
	少量のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなる場合があります。	もう少し給湯栓を開いて使用する。	
高温のお湯が出ない	太陽熱温水器と接続している場合、太陽熱温水器でお湯の温度が高くなるため、低温のお湯が出ない場合があります。	異常ではありません。	
	オイルタンクの送油バルブが全開になっていない。	送油バルブを全開に。	
	給湯温度の設定が合っていない。	☞P13	
給湯栓を絞ると水になった	冬期など、水温が低いときに高温のお湯を多く出そうとすると、設定した温度(高温)のお湯が出ない場合があります。	給湯栓を少し閉じて、お湯の量を少なくする。	
	給湯栓から流れるお湯の量が1分間に約3L以下になったとき消火します。	給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くする(お湯の温度が安定します)	
お湯が白く濁って見える	給湯栓を絞ると水になった	給湯栓から流れるお湯の量が1分間に約3L以下になったとき消火します。	給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くする(お湯の温度が安定します)
お湯が白く濁って見える	水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、細かい泡となって出てくる現象で、無害なものです。	異常ではありません。	
	給湯栓から出るお湯の量が変化する	お湯を使用中に、他の場所でお湯を使用すると、お湯の量が減る場合があります。また、水道の圧力や配管条件によっては、極端にお湯の量が減ったりいったん止まる場合があります。	異常ではありません。いずれもしばらくすると安定します。
	お湯の温度を安定させるため、お湯の出始めは少なく出し、安定するとお湯をたくさん出すように機器側で制御します。	異常ではありません。	
給湯栓の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、出湯量に変化するものがあります。	給湯栓の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、出湯量に変化するものがあります。	異常ではありません。	

	こんなときは	こんなことが考えられます	処置
お風呂	設定したお湯はり湯量より多くお湯はりされてしまう	残り湯(水)がある場合や、お湯はりを中断して再度お湯はりをする場合、浴槽に残っている湯(水)の量だけ、設定したお湯はりの湯量より多くなります。	異常ではありません。
	設定したお湯はり湯量より少なくお湯はりされてしまう	お湯はり中に他の場所でお湯を使用すると、使用した分だけお湯はりの量が少なくなります。	異常ではありません。
	設定量までお湯はりしても、お湯はりブザーが鳴らない／鳴るタイミングがずれている	次のような場合は、お湯はりブザーは鳴りません。 ・お湯はり湯量を「990L」に設定している場合。 ・お湯はり中に、台所リモコンの運転スイッチを「切」「入」した場合。	異常ではありません。
		設定した湯量分お湯が連続して出ると、お湯はりブザーが鳴るしくみになっています。お湯はり中に台所やシャワーでお湯を使うと、設定した湯量になる前にお湯はりブザーが鳴ります。	異常ではありません。
		サーモスタット付混合水栓の場合、水栓で水を混ぜるため、設定したお湯はり湯量より水の分だけ多いところでお湯はりブザーが鳴ります。	異常ではありません。
キッチン	運転ランプが点灯しない	停電している。 電源プラグが抜けている。	復旧を待つ。 電源プラグの確認を。
	時計表示が「0:00」になっている	停電後または電源プラグを抜いたあと、再通電して時計を表示させると「0:00」になる場合があります。	時計を合わせ直す。 ☞P11
	スイッチを押してもそのスイッチ動作をしない(例)運転スイッチを押して「切」にしたはずなのに切れていない、など	表示の節電中にスイッチを押すと、その状態を解除し、もう1回押すとそのスイッチの機能がはたります。運転スイッチ「入」「切」は、ランプの点灯・消灯で確認してください。	☞P17
	表示の節電の状態にならない	表示の節電「する」の設定になっていない。 給湯温度を60℃・75℃に設定している場合は、表示の節電はしません。 時計表示をしているときは、表示の節電はしません。	☞P17 異常ではありません。 異常ではありません。
	燃焼ランプが点灯したり消灯したりする	しくみ上、断続的に燃焼したり消火したりします。	異常ではありません。
	リモコンのスイッチや表面のビニールが破れてきた、はがれてきた、浮き上がって空気が入っている	リモコンの表面には、出荷時に保護シート(表面に傷などがつかないようにするためのもの)が貼ってあります。この保護シートは、はがさずに使用してもはがして使用してもかまいません。保護シートをはがさずに使用した場合は、よく触れる部分などが破れてきたりはがれてきたりしますが、そこからリモコンに水が入って故障することはありません。気になる場合は保護シートをはがしてください。	異常ではありません。

# 故障・異常かな？と思ったら-2

	こんなときは	こんなことが考えられます	処置	
機器全般	排気口から湯気が出る	二次熱交換器で熱を回収された燃焼ガスは、熱を奪われるため温度が低く、また多くの水分を含んでいます。このため、外気に触れると結露し、白い湯気に見えます。	異常ではありません。 ☞P2	
	ドレン配管から頻繁に排水する	機器内に発生した結露水をドレン配管から排出します。(最大60cc/分程度)	異常ではありません。 ☞P2	
	運転中に停止した	断水している。 給湯栓が充分開いていない。 灯油がなくなっている。	オイルタンクの送油バルブ・給水元栓が全開になっていない。	送油バルブ・給水元栓を全開に。
			復旧を待つ。	
			給湯栓を充分に開ける。	
			灯油を補充し、運転スイッチを「切」「入」する。	
	運転を停止しても、しばらくの間ファンの回転音(ブーン)がする	再使用時の点火をより早くするため、また、再使用時にお湯の温度を早く安定させるために機器が作動している音です。	異常ではありません。	
	運転スイッチを「入」「切」したり、給湯栓を開閉したり、機器の使用後しばらくするとモータが動く音(ウィン、ウィン)がする			
	運転中にときどき「カチッ」という音がする	しくみ上、音が出ます。	異常ではありません。	
	給湯栓の開閉時にときどき「パキパキ」という音がする	熱交換器内で圧力が上がり、一時的に温度が上がるため、音が出ます。	異常ではありません。	
水抜き栓(過圧防止安全装置)から、お湯(水)が少しの間出ることがある	機器内に高い圧力が生じたとき、過圧防止安全装置のはたらきにより、水抜き栓(過圧防止安全装置)から水滴が落ちることがあります。	異常ではありません。		
水が青く見える 浴槽や洗面台が青く変色した	浴槽や洗面台が水中に含まれる微量の銅イオンと脂肪分(湯あか)により青く着色することがありますが、健康上問題ありません。	浴室用洗剤とスポンジでこまめに掃除することにより着色しにくくなります。		
ドレン配管から出る水に色がついている (白っぽい・茶色っぽい)	熱の再利用時に発生する結露水を、中和剤(炭酸カルシウム)で中和してから、ドレン配管より排水します。この中和により色味がかかる場合があります。	人体・環境に影響はありません。		



## リモコンの故障表示をお調べください

不具合が生じたとき、故障表示が点滅します。  
下表に応じた処置をしてください。  
(お客さままで対処できるもののみ記載しています)



(台所リモコン)

故障表示	原因	処置
01	給湯を連続60分以上運転したため	給湯栓を閉め、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして使用してください。
10	対震自動消火装置の作動	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして表示が出なければ正常です。 ※地震による場合は機器の設置場所へ行き、周囲の可燃物、機器の損傷、油漏れ、水漏れがないか確認してから操作してください。
11 12	* 燃焼制御装置の非検知 * 灯油切れの可能性があります	①運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして表示が出なければ正常です。 ②上記操作後も表示が出る場合は、オイルタンクの残量を確認し、減っていれば給油してください。その後、再度①の操作をしてください。
15	お湯の温度が設定温度より異常に上がりすぎたため	給湯栓を閉め、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして、給湯栓をもっと開いて使用してください。
80	オイルセンサー検知	オイルタンクの送油バルブを閉めてから、販売店または、弊社へご連絡ください。
88	長年にわたり、機器を使用した場合に表示します (故障ではありません)	一般的な使用で10年相当使用されたため「点検お知らせ機能」がはたらきました。使用はできますが、安全のため点検(有料)を依頼してください。販売店または、弊社に連絡してください。
29	中和器のつまり	販売店または、弊社に連絡してください。
92	中和器の交換が必要です (中和器の寿命です)	しばらくは機器を使用できますが、能力が低下します。販売店または、弊社に連絡してください。
93	中和器の交換が必要です (中和器の寿命です)	機器が使用できません。販売店または、弊社に連絡してください。
LL	【別売品の給油検知装置を設置している場合】 オイルタンクへの給油お知らせ ※運転スイッチ「切」時に表示します。	オイルタンクへ給油して、表示が出なければ正常です。 残油量が多いのに表示が出る・残油量が少ないのに表示が出ない場合は、給油検知装置の調整をしてください。(P30)

必要なとき

### ● 以下の場合は、販売店または、弊社にご連絡ください ●

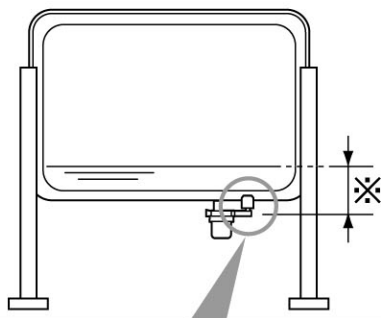
- \* 上記以外の表示が出るとき
- \* 上記の処置をしてもなお表示がくりかえし出るとき
- \* その他、わからないとき

# 故障・異常かな？と思ったら-3

## 給油検知装置FC-1(別売品)の調整方法

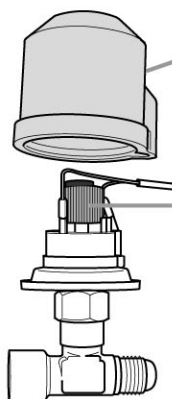
オイルタンクの送油バルブ付近に給油検知装置FC-1が付いている場合、設定した残油量になると「↓↓」とリモコンに表示が出て、給油時期をお知らせします。

(設置例)



※ 初期設定=調整つまみの目盛り「10」(cm)  
(残油が給油検知装置から約10cmの位置になると、「↓↓」とリモコンに表示します)

<調整方法>

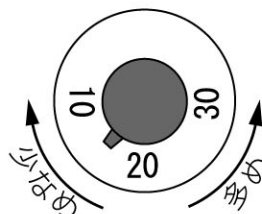


1. ゴムカバーを外す  
※調整後は確実に  
取り付けてください

2. 調整つまみで調整する

給油検知装置は防水型ではありません。  
ゴムカバーが確実に取り付けられていないと、雨水などがはいつて給油検知装置が故障する原因になります。

<調整つまみを上から見た図>



【残油量が多いのに お知らせ表示が出た場合】  
目盛を「10」側に回してください。  
(残油量が少なめで表示が出ます)

【残油量が少ないのに お知らせ表示が出ない場合】  
目盛を「30」側に回してください。  
(残油量が多めで表示が出ます)

\* 送油配管内部に空気が入っていると、お知らせ表示を出す位置がばらつくことがあります。(空気抜きの方法 P9)  
\* 給油検知装置は傾いて取り付けられている場合がありますが、性能上、問題ありません。

# 部品交換のしかた

部品の交換は必ず純正部品を使用してください。また故障やおわかりにならないことがありましたら販売店に相談していただき、修理資格者[(財)日本石油燃焼機器保守協会(TEL 03-3499-2928)でおこなう技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など]の修理をお受けください。

<使用方法などによっては、故障する可能性のある部品>

変質灯油・不純灯油・水が混入した灯油の使用により、故障する可能性のある部品	電磁ポンプ(制御弁SET)、ノズル、オイルストレーナー
水の析出物により、故障する可能性のある部品	バイパス水量サーボ、水量サーボ

## 初期設定一覧

項目	初期設定
時計表示(未設定時)	0:00
給湯温度	40℃
お湯はり湯量	180L
リモコンの操作音	鳴らす

# 主な仕様

製 品 名	CBX-EF470F	
型 式 の 呼 び	CBX-EF470F(OQB-C4703YS)	
種 類	燃 焼 方 式	圧力噴霧式
	給 排 気 方 式	屋外用開放形
	給 水 方 式	水道直結式
	加 熱 方 式	瞬間形
点 火 方 式	高圧放電式	
使 用 燃 料	灯油(JIS1号灯油)	
燃 料 消 費 量 <kW>	49.0(4.8L/h)	
連 続 給 湯 効 率 <%>	95	
連 続 給 湯 出 力 <kW>	46.5	
熱 交 換 器 容 量 <L>	1.52(一次側：0.89、二次側：0.63)	
使 用 圧 力	1MPa以下	
伝 熱 面 積 <m <sup>2</sup> >	一次側：1.310、二次側：0.332	
外 形 寸 法 <mm>	高さ885×幅540×奥行250	
質 量 <kg>	39.5	
電 源 電 圧 及 び 周 波 数	AC100V 50/60Hz	
定 格 消 費 電 力	給 湯 使 用 <W>	点火時：99/93 燃焼時：90/85
	凍 結 予 防 ヒ ー タ ー <W>	154
待 機 時 消 費 電 力 <W>	1.8	
排 気 温 度	260℃以下	
騒 音 レ ベ ル	48dB(Aレンジ)	
電 流 ヒ ュ ー ズ	10A	
温 度 ヒ ュ ー ズ	缶体温度ヒューズ：221℃	
安 全 装 置	対震自動消火装置、停電時安全装置、燃焼制御装置	
そ の 他 の 装 置	漏電安全装置、空だき安全装置、凍結予防ヒーター、排気温度検知装置、逆火安全装置、油漏れ検知装置、中和器詰まり検知装置	
付 属 品	転倒防止板	



# アフターサービスについて

## サービスを依頼されるとき

P26～30の「故障・異常かな?と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または、弊社にご連絡ください。



### ● 連絡していただきたい内容 ●

製品名……………機器正面に貼り付けてある銘板または保証書をご覧ください

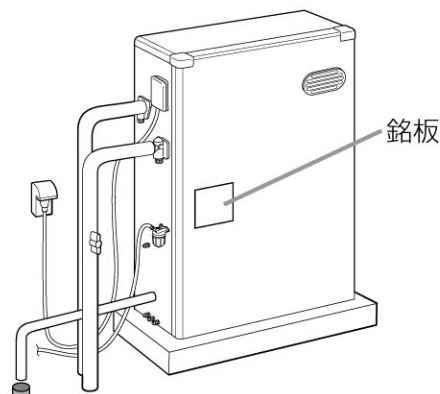
設置日……………保証書をご覧ください

異常の状況……………故障表示など、できるだけくわしく

ご住所・ご氏名・電話番号

訪問ご希望日

※作業に危険を伴う場所に製品が取り付けられている場合は、アフターサービスをお断りすることがあります。(工事店にご相談ください)



### ● 修理料金のしくみ ●

修理料金は **技術料** + **部品代** + **出張料** などで構成されています。

製品のいる場所に技術者を派遣するための料金です。

修理に使用した部品代金です。

診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・試運転などの作業にかかる料金です。

## 保証について

この取扱説明書には保証書がついています。

必ず販売店名・設置日などが記入されているのを確認してください。

保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

## 補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後7年です。

なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

# 据え付け

## 据え付け場所の選定および標準据え付け例

据え付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。工事説明書の「安全のために必ずお守りください」をお読みになり、販売店または、据え付け業者とよくご相談してください。また「標準据え付け例」については、工事説明書の「標準据え付け図例」をご確認ください。

## 騒音防止について

設置場所の選びかた次第で騒音は大きく変わります。騒音公害とならないよう、充分配慮して設置場所を選択してください。（販売店とよく相談してください）

\*夜間には、小さな音でも通りやすいものです。

夜間の使用には気を配りましょう。

\*隣家からなるべく離して設置してください。

\*ブロック塀などが近くにある場合は、音が反響して大きくなる場合がありますのでご注意ください。

## 据え付け後の確認

据え付けが終わりましたら、もう一度、工事説明書の「安全のために必ずお守りください」をお読みになり、工事説明書に記載されているとおり据え付けられているかどうかを確認してください。

## 試運転

「試運転」については、工事説明書の「試運転」をご確認ください。



